

谷崎潤一郎生誕の地

東京穀物商品取引所

ジュサブロー館

人形町

玄冶店跡

人形町通り

中崎橋

大門通り

水天宮通り

水天宮前

ロイヤルパークホテル

甘酒横丁
明治の初め、横丁入口の南側に「尾張屋」という甘酒屋があったことから甘酒横丁に。和菓子、豆腐、いなり寿司、そば屋にレストラン、つづら屋に三味線屋.....名店が軒を連ねる。



谷崎潤一郎生誕の地

中央区日本橋人形町1-7-10

谷崎潤一郎(1886~1965)は、明治19年、この地にあった祖父の家、谷崎活版所で生まれた。最初、耽美と背徳の空想的な世界を華麗に描き、後に日本的な伝統美に傾倒し、王朝文学の息吹を現代に生かした新しい境地を開いた。代表作に「夢喰ふ虫」「春琴抄」「細雪」「少将滋幹の母」など。碑は松子夫人の揮毫による。



薬研堀不動院
中央区東日本橋2-6-8

川崎大師の別院で、宗派の本山は京都市東山七条の総本山智積院。御本尊である不動明王の尊像は、真言宗中興の祖と仰がれる、興教大師覺鑊上人が自ら刻まれたもの。江戸時代は、薬研堀不動尊は目黒、目白とともに江戸三大不動として知られた。12月27日~29日に開かれる「納めの歳の市」は有名。

ボタンの博物館

中央区日本橋浜町1-11-8(株)アイリス本社4階

電話(3864)6537

10時~17時(見学は要予約)

土曜日曜祝日休 入館料300円

世界で唯一のボタン専門博物館。ボタンメーカー「アイリス」が収集した、ボタンに関する内外の資料や文献・実物を保存・展示。



賀茂真淵泉居の跡

清洲橋通り

明治座

玄冶店跡

中央区日本橋人形町3-8

この地には幕府の医官として名高い岡本玄治(1587~1645)が住み、貸家を建てて庶民に貸していた。歌舞伎「与話情浮名横櫓」の舞台にもなった。將軍家光が痘瘡を病んだ時、これを全快させて一躍その名を高め、子孫も九代この地にその職と名跡を継いだ。

ジュサブロー館

中央区日本橋人形町3-6-9

電話(3661)0035

10時~17時(入館は16時30分) 水曜休(祝日と重なる場合は開館)入館料1000円

辻村ジュサブロー氏の作品を展示。アトリエを公開しファンとの交流をはかっている。



賀茂真淵泉居の跡

中央区日本橋久松町9先

国学者で歌人であった賀茂真淵(1697~1769)は、徳川御三卿の一人、田安宗武に仕えた。後に久松町に居を構え、「万葉考」「歌意考」「国意考」「祝詞考」などの著作を残した。真淵の門人からは、本居宣長や荒木田久老などが出た。

明治座

中央区日本橋浜町2-31-1

電話(3660)3939

開演日・時間などは演目によって異なる

明治6年(1873)喜昇座として開場。その後、久松座、千歳座と改称、明治26年(1893)明治座に。開場以来、歌舞伎、新国劇、新派の名舞台を生み続けてきた大衆演芸の殿堂。平成5年新劇場に生まれ変わった。



ボタンの博物館

ロイヤルパークホテル ディスカバー江戸下町-2

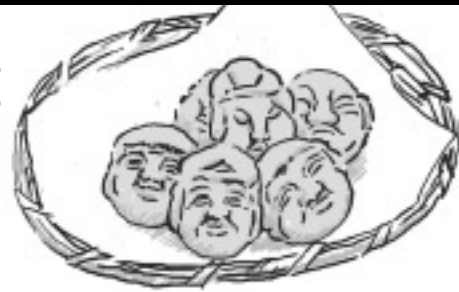
人形町界隈

ユニークな博物館や名跡を訪ね、名店揃いの甘酒横丁をひやかしながらの下町散歩。老舗のたたずまいに、路地裏の木造家屋に.....下町情緒もたっぷりのコース。

【コース】

薬研堀不動院 ボタンの博物館 賀茂真淵泉居の跡 明治座 甘酒横丁 谷崎潤一郎生誕の地 玄冶店跡 ジュサブロー館

馬喰横山



東日本橋

清杉通り

薬研堀不動院

不動院通り

靖国通り

隅田川

両国橋